



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況 (連結)

平成18年8月10日

上場会社名 大明株式会社

(コード番号: 1943 東証第1部)

(URL <http://www.daimei.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 八木橋 五郎

問合せ先責任者 役職名 常務取締役経営管理本部長 氏名 大友 誠一 TEL (03) 5434-1121

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) 税金費用の計上基準については、一部簡便な方法を採用しております。
- ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 19年3月期第1四半期財務・業績の概況 (平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注) 百万円未満は切り捨てて表示してあります

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	21,622	11.9	585	—	604	—	267	—
18年3月期第1四半期	19,327	14.4	—	—	—	—	—	—
(参考) 18年3月期	108,556	7.4	6,363	2.6	6,380	3.5	3,215	7.9

	1株当たり四半期 (当期) 純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期) 純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	6 52	6 17
18年3月期第1四半期	—	—
(参考) 18年3月期	77 12	69 47

(注) 当連結会計年度より四半期財務・業績の開示を行なっているため、前年四半期の実績及び対前年四半期増減率については記載しておりません。

(参考) 受注高・売上高実績内訳

(単位: 百万円)

	区 分	平成18年3月期 第1四半期	平成19年3月期 第1四半期	比較増減	増減率
受注高	NTTネットワークエンジニアリング	8,808 (34.3%)	10,463 (32.6%)	1,655	18.8%
	モバイルネットワークソリューション	11,116 (43.3)	16,251 (50.6)	5,135	46.2
	ITソリューション	2,084 (8.1)	2,604 (8.1)	519	24.9
	総合設備エンジニアリング	3,679 (14.3)	2,780 (8.7)	△899	△24.4
	合 計	25,689 (100.0)	32,100 (100.0)	6,410	25.0
売上高	NTTネットワークエンジニアリング	7,618 (39.4%)	8,784 (40.6)	1,165	15.3
	モバイルネットワークソリューション	6,794 (35.2)	8,388 (38.8)	1,593	23.5
	ITソリューション	1,630 (8.4)	1,707 (7.9)	76	4.7
	総合設備エンジニアリング	3,284 (17.0)	2,742 (12.7)	△542	△16.5
	合 計	19,327 (100.0)	21,622 (100.0)	2,294	11.9

【経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等】

当第1四半期の受注高についてはNTTネットワークエンジニアリング、モバイルネットワークソリューションを中心に前年実績を大幅に上回り321億円 (前年同期比25.0%増) となり、売上高についても工事等が堅調に推移したことにより216億2千2百万円 (前年同期比11.9%増) となり前年同期実績を上回りました。

また、経常利益は6億4百万円、四半期純利益は2億6千7百万円となりました。

(2) 連結財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	68,221	37,969	51.7	862 07
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 18年3月期	73,893	35,883	48.6	875 18

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	2,739	△179	△588	23,521
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 18年3月期	5,001	19	△1,914	21,551

【財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等】

当第1四半期末の財政状態は、総資産が682億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億7千2百万円減少しました。主な要因は、前連結会計年度末に完成した工事に対する代金回収及び季節的変動による売上高の減少により受取手形・完成工事未収入金が110億5千7百万円減少したこと、及び仕掛工事の増加により未成工事支出金が34億6千4百万円増加したことによるものです。また、負債は302億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億3百万円減少しました。主な要因は、前連結会計年度末に完成した工事に対する支払手形・工事未払金等が49億9千3百万円減少したことによるものです。

3. 19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	51,200	2,800	1,430
通期	112,300	6,450	3,400

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 83円09銭

【業績予想に関する定性的情報等】

中間期及び通期の連結業績は当初計画に見込んだモバイルナンバーポータビリティに関する工事等が堅調に推移することから平成18年5月12日に公表した業績予想に変更はありません。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書

以上

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第1四半期	(参考)
		(平成18年6月30日)	前連結会計年度 (平成18年3月31日)
		金 額	金 額
(資 産 の 部)			
I 流 動 資 産			
現 金 預 金		18,607	16,613
受取手形・完成工事未収入金等		15,077	26,135
有 価 証 券		5,249	5,250
未成工事支出金等		9,021	5,557
そ の 他		1,099	1,023
貸倒引当金		△ 46	△ 51
流 動 資 産 合 計		49,010	54,528
II 固 定 資 産			
1 有 形 固 定 資 産			
建 物		2,694	2,728
土 地		6,705	6,705
そ の 他		1,053	1,000
有 形 固 定 資 産 合 計		10,453	10,433
2 無 形 固 定 資 産			
		111	100
3 投 資 そ の 他 の 資 産			
投 資 有 価 証 券		4,538	4,816
そ の 他		5,427	5,338
貸倒引当金		△ 1,319	△ 1,323
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計		8,646	8,831
固 定 資 産 合 計		19,211	19,365
資 産 合 計		68,221	73,893

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第1四半期	(参考)
		(平成18年6月30日)	前連結会計年度 (平成18年3月31日)
		金 額	金 額
(負 債 の 部)			
I 流 動 負 債			
支払手形・工事未払金等		9,769	14,762
短期借入金		7,483	7,510
未成工事受入金		1,136	477
その他の		2,837	3,294
流動負債合計		21,227	26,045
II 固 定 負 債			
社 債		100	100
転換社債		6,752	6,757
長期借入金		154	155
退職給付引当金		1,512	1,555
その他の		505	642
固定負債合計		9,023	9,209
負債合計		30,251	35,254
(少 数 株 主 持 分)			
少数株主持分		—	2,754
(資 本 の 部)			
I 資 本 金		—	5,608
II 資 本 剰 余 金		—	4,055
III 利 益 剰 余 金		—	25,168
IV 土 地 再 評 価 差 額 金		—	△ 130
VI そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		—	1,259
VII 自 己 株 式		—	△ 78
資本合計		—	35,883
負債・少数株主持分及び資本合計		—	73,893
(純 資 産 の 部)			
I 株 主 資 本			
1 資 本 金		5,610	—
2 資 本 剰 余 金		4,058	—
3 利 益 剰 余 金		24,694	—
4 自 己 株 式		△ 77	—
株主資本合計		34,286	—
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等			
1 その他有価証券評価差額金		1,119	—
2 土地再評価差額金		△ 130	—
評価・換算差額等合計		989	—
III 少 数 株 主 持 分		2,693	—
純資産合計		37,969	—
負債、純資産合計		68,221	—

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第1四半期	(参考)
		(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
		金 額	金 額
I	完成工事高	21,622	108,556
II	完成工事原価	19,080	94,574
	完成工事総利益	2,541	13,982
III	販売費及び一般管理費	1,956	7,619
	営業利益	585	6,363
IV	営業外収益	78	277
V	営業外費用	59	260
	経常利益	604	6,380
VI	特別利益	16	58
VII	特別損失	74	734
	税金等調整前四半期(当期)純利益	546	5,704
	税金費用	306	2,458
	少数株主損益	△ 26	30
	四半期(当期)純利益	267	3,215